

## IV 選定結果

### Results

今回の改訂作業で、鳥取県内で絶滅のおそれが生じている種としてレッドリストに選定された野生動植物の種数は、表3のとおりである。以下にその概要を述べる。

1) 選定された種数（以下、括弧内は前回2002年発行の「レッドデータブックとっとり」の選定種数）は、哺乳類 25 (19)、鳥類 75 (78)、爬虫類 5 (4)、両生類 10 (11)、淡水魚類 18 (16)、昆虫類 137 (109)、陸生甲殻類 4 (4)、多足類 2 (2)、クモガタ類 17 (16)、陸・淡水産貝類 44 (34)、その他の無脊椎動物 4 (3)（内訳は、扁形動物 1、海綿動物 2、頭索動物 1）、菌類 9（前回選定対象外）、地衣類 7（前回選定対象外）、車軸藻類 9（前回選定対象外）、コケ植物 18（前回選定対象外）、シダ植物 53(44)、種子植物 351 (286) の総計 788 (619) 種である。内訳は動物が、341種 (296種)、植物+菌類+地衣類が 431種 (330種) であった。前回よりも選定種数が

増加しているのは、菌類、地衣類や、非維管束植物である車軸藻類、コケ植物が今回新たに選定対象となったことはもちろんであるが、前回選定時から動物や維管束植物（シダ植物+種子植物）の生息・生育情報が蓄積されたことが主要な理由である。

カテゴリー別選定種数の内訳（以下、全体の種数=動物の種数〔小計①〕+菌類、地衣類の種数〔小計②〕+植物の種数〔小計③〕）の順で表示。括弧内は前回選定種数は、「絶滅」25=13+0+12（18=10+0+8）種、「絶滅危惧Ⅰ類」158=46+1+111（119=35+0+84）種、「絶滅危惧Ⅱ類」203=61+6+136（168=52+0+116）種、「準絶滅危惧種」276=134+5+137（249=140+0+109）種、「情報不足」86=64+4+18（33=33+0+0）種、「その他の保護上重要な種」40=23+0+17（52=28+0+24）種である。

表 3. カテゴリー別選定種数

区 分	絶 滅	絶 滅 危 惧			準絶滅危惧	情報不足	その他の 保護上 重要な種	計
		I類	II類	小 計				
		EX	CR+EN	VU				
① 哺乳類	4	1	6	7	9	5	0	25
② 鳥類	2	15	15	30	40	3	0	75
③ 爬虫類	0	1	0	1	1	3	0	5
	0	0	2	2	5	0	3	10
④ 淡水魚類	0	4	4	8	8	2	0	18
⑤ 昆虫類	7	16	30	46	43	33	8	137
⑥ 陸生甲殻類	0	0	0	0	0	4	0	4
	0	0	0	0	0	2	0	2
	0	0	2	2	5	1	9	17
⑦ 陸産・淡水産貝類	0	9	2	11	22	9	2	44
⑧ その他の無脊椎動物	0	0	0	0	1	2	1	4
小 計 ①	13	46	61	107	134	64	23	341
⑨ 菌類	0	0	5	5	4	0	0	9
⑩ 地衣類	0	1	1	2	1	4	0	7
小 計 ②	0	1	6	7	5	4	0	16
⑪ 車軸藻類	0	7	1	8	0	1	0	9
⑫ コケ植物	0	0	2	2	5	9	2	18
⑬ 維管束植物(シダ植物)	4	14	21	35	14	0	0	53
	8 (うち2はEW)	90	112	202	118	8	15	351
小 計 ③	12	111	136	247	137	18	17	431
総計(小計①+②+③)	25	158	203	361	276	86	40	788

2) 鳥取県内では既に絶滅したと考えられる種(「絶滅(EX)」)。以下、(新)と表示してあるのは今回新たに絶滅と判定した種)は、ニホンオオカミ、ニホンカワウソ、ニホンアシカ、ニホンカモシカ(新)、コウノトリ、タンチョウ、コバネアオイトトンボ(新)、ナニワトンボ(新)、カワラバツタ、アサカミキリ(新)、ヒョウモンモドキ、オオウラギンヒョウモン、シータテハ(以上、動物)、アスヒカズラ、クラガリシダ、デンジソウ、オオアカウキウクサ、ネズコ、ヤナギスブタ(新)、ダイセンアシボソグ、ヒメシロアサザ(新)、ガガブタ(新)、アサザ(新)、ヌマダイコン(新)、フジバカマ(新)(以上、植物)の25種である(ヒメシロアサザとフジバカマは野生絶滅EW)。このうち、最初の哺乳類と鳥類の6種のうちニホンカモシカをのぞく5種は県内の縄文・弥生期の遺跡から出土している骨が県内の過去における確実な生息記録となっているものである。これらの扱いは異論があるかもしれないが、明治時代に県内で狩猟された毛皮が残っているニホンカモシカと同様に、いずれも県内には近世まで生息していた(タンチョウはおそらく冬鳥として)可能性が高いものであることから、前回選定時と同様に今回もここに含めている。

前回、「絶滅」と判定していたが、その後、県内から生息・生育が再確認され、「絶滅」ランクから外したものが3種ある。昆虫のウラナミジャノメ、シダ植物のヤシャゼンマイ、種子植物のベニバナヤマシャクヤクである。ただし、いずれも生息・生育基盤はきわめて脆弱であるため、今後の動向には最大限の注意が必要である(よって絶滅危惧I類)。

3) 絶滅のおそれとくに高い「絶滅危惧I類」および「絶滅危惧II類」は総計361種=107+7+247(前回は287種=87+0+200)を選定している。なお、前回選定時と同様に今回も「絶滅危惧I類」のうち「絶滅危惧IA類(CR: critically endangered)」と「絶滅危惧IB類(EN: endangered)」については区別しなかった。これは、ほとんどの生物群について、本県ではこれら2つを区別できるだけの情報の蓄積が十分でないためである。

4) 「準絶滅危惧(NT: near threatened)」は、存続基盤が脆弱で生育条件の変化によっては容易に上位ランクに移行する要素をもつ種である。同様の要素をもちながら、準絶滅危惧(あるいは他のランク)に判定するに足る情報がないものは「情報不足(DD)」とした。選定理由は一様ではない。「情報不足(DD)」の中には、県内では既に絶滅しているかもしれないが、生息・生育記録が乏しく判断ができないというケースも含まれるので、注意が必要である。

5) 「その他の保護上重要な種(OT: others)」は、環

境省版レッドデータブックには対応するものがない県独自のランクである。このランクは、県内では生息・生育個体数が多く、現時点で「種 species」として絶滅のおそれはないが、県内で外部形態や染色体数などが地理的に分化しており、個々の地理型の分布域(または複数の地理型間に形成される交雑帯(hybrid zone)の面積)が非常に限定されるようなケースを「保護に留意すべき対象」として位置付けることを目的として設けられた。例えば、イラカザトウムシ(クモガタ綱ザトウムシ目)は県内の標高400m以上の山地では普通種であるが、県東部の八頭郡智頭町付近を境に西から東に向かって染色体数(2n)が16本から22本まで分化しており、智頭町内の両者の分布域の接点ではみごとな交雑帯ができています。この染色体交雑帯の幅は最短部で約5kmであるが、この中にある集団はそれぞれが独自の染色体数を保有し、互いにかげがえがない存在である。これら個々の集団が占める面積は非常に狭いため、ほんの数ヘクタールの森林消失でも集団が消失するおそれが高い。このようなケースについては、この「その他の保護上重要な種」のランクの意味は、環境省ランクの「絶滅のおそれのある地域個体群」に近い。

また、県内の生息・生育地が、当該種の分布の南限や北限に相当し、現状では危険ではないものの(たとえば生息域が国立公園として保護されたブナ林であるなどの理由により)生息域の局限度が高い種なども「その他の保護上重要な種」に含まれている。

今回の選定では、この「その他の保護上重要な種」の定義を、「(1) 県内に交雑帯(移行帯)が存在する」か、「(2) 県内に南限などの国内分布の限界が存在する」か、の2つ以外の理由を極力排除したため、このランクでの選定種数は一部の分類群では前回に比べ減少した。

なお、国内の分布南限、西限などに相当する集団は分布範囲が狭小で個体数が非常に限られるため「準絶滅危惧」以上のランクで掲載となっている例も多い。

6) レッドリストに選定された種の主要分類群別の県内の全既知種数に対する比率(%)は、哺乳類 50(前回 44)、鳥類 20.8(22)、爬虫類 23.8(19)、両生類 42(58)、淡水魚類 18.9(29)、昆虫類のうちトンボ類 27.3(31)、チョウ類 32.5(31)、ハンミョウ科 30(30)、(以上、昆虫については現在のところ種数の把握できない群が多数あるため昆虫全体での見積りができない)、クモ目 0.9(1.5)、ザトウムシ目 44(36)、陸・淡水産貝類 25.7(28)、コケ植物 4(—)、シダ植物 23.9(19.5)、種子植物 20.6(16.8)である。これらの数字は絶滅のおそれのある種が本県においても決して少なくないことを示している。

また、リスト選定種のうち、絶滅危惧種(「絶滅危惧I類」および「絶滅危惧II類」)の分類群別の鳥取県内既知種数に対する比率(%)は、哺乳類 14.6(前回 9.3%、以

下、括弧内は前回の比率)、鳥類 8.3 (6.6)、爬虫類 9.5 (0)、両生類 36.8 (10.5)、淡水魚類 8.4 (14.3)、トンボ目 9.1 (9.5)、ハンミョウ科 30 (30)、チョウ類 13.3 (13.4)、クモ目 0.2 (0.3)、陸・淡水産貝類 6.4 (5.8)、コケ類 0.4 (—)、シダ植物 15 (12.8)、種子植物 11.9 (10.1) である。両生類の 36.8%、ハンミョウ科昆虫の

30%、哺乳類の 14.6%、シダ植物の 15%、昆虫のチョウ類の 13.3%などが群を抜いて多いのが目立つ。また、種子植物は県内既知種数を1700として算定したが、この種数には多くの外来種が含まれているため、在来種のみを分母とすれば、この比率はもっと高いと予想される。

(鶴崎展巨)

## 鳥取県レッドリスト(改訂版)選定種一覧

(種名のうしろの数字は、種の解説の掲載ページ)

## 哺乳類

## 絶滅 (EX) — 4種

ニホンオオカミ (イヌ科)	30
ニホンカワウソ (イタチ科)	31
ニホンアシカ (アシカ科)	31
ニホンカモシカ (ウシ科)	32

## 絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) — 1種

オヒキコウモリ (オヒキコウモリ科)	28
--------------------	----

## 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) — 6種

ミズラモグラ (モグラ科)	24
ヒナコウモリ (ヒナコウモリ科)	26
ヒメホオヒゲコウモリ (ヒナコウモリ科)	26
テングコウモリ (ヒナコウモリ科)	27
ヤマネ (ヤマネ科)	30
ツキノワグマ (クマ科)	30

## 準絶滅危惧 (NT) — 9種

カワネズミ (トガリネズミ科)	24
アズマモグラ (モグラ科)	25
コキクガシラコウモリ (キクガシラコウモリ科)	25
モモジロコウモリ (ヒナコウモリ科)	26
ユビナガコウモリ (ヒナコウモリ科)	27
ニホンリス (リス科)	29
ニホンモンガ (リス科)	29
ムササビ (リス科)	29
ニホンイタチ (イタチ科)	31

## 情報不足 (DD) — 5種

ヒメヒミズ (モグラ科)	24
キクガシラコウモリ (キクガシラコウモリ科)	25
ヤマコウモリ (ヒナコウモリ科)	27
コテングコウモリ (ヒナコウモリ科)	28
ニホンザル (オナガザル科)	28

## 鳥類

## 絶滅 (EX) — 2種

コウノトリ (コウノトリ科)	39
タンチョウ (ツル科)	48

## 絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) — 15種

ミゾゴイ (サギ科)	37
ヘラサギ (トキ科)	39
クロツラヘラサギ (トキ科)	39
オジロワシ (タカ科)	44
オオワシ (タカ科)	44
クマタカ (タカ科)	46
イヌワシ (タカ科)	47
オオジシギ (シギ科)	50

コアジサシ (カモメ科)	51
コミミズク (フクロウ科)	52
ブッポウソウ (ブッポウソウ科)	54
ヤイロチョウ (ヤイロチョウ科)	55
カヤクグリ (イワヒバリ科)	56
メボソムシクイ (ウグイス科)	58
ホオアカ (ホオジロ科)	60

## 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) — 15種

サンカノゴイ (サギ科)	37
ヒシクイ (カモ科)	40
オオハクチョウ (カモ科)	40
ツクシガモ (カモ科)	41
トモエガモ (カモ科)	42
シノリガモ (カモ科)	42
サシバ (タカ科)	46
ハイイロチュウヒ (タカ科)	47
チュウヒ (タカ科)	47
ハヤブサ (ハヤブサ科)	48
ズグロカモメ (カモメ科)	51
コノハズク (フクロウ科)	52
ヨタカ (ヨタカ科)	53
コシアカツバメ (ツバメ科)	55
ホシガラス (カラス科)	61

## 準絶滅危惧 (NT) — 40種

ヨシゴイ (サギ科)	37
ササゴイ (サギ科)	38
チュウサギ (サギ科)	38
クロサギ (サギ科)	38
マガン (カモ科)	40
コハクチョウ (カモ科)	41
オシドリ (カモ科)	41
ヨシガモ (カモ科)	42
ホオジロガモ (カモ科)	43
ミコアイサ (カモ科)	43
ミサゴ (タカ科)	43
ハチクマ (タカ科)	44
オオタカ (タカ科)	45
ツミ (タカ科)	45
ハイタカ (タカ科)	45
ノスリ (タカ科)	46
コチョウゲンボウ (ハヤブサ科)	48
クイナ (クイナ科)	49
イカルチドリ (チドリ科)	49
タゲリ (チドリ科)	50
ワシカモメ (カモメ科)	50
シロカモメ (カモメ科)	51
トラフズク (フクロウ科)	52
アオバズク (フクロウ科)	53
フクロウ (フクロウ科)	53
ヤマセミ (カワセミ科)	54

アカショウビン (カワセミ科)	54
オオアカゲラ (キツツキ科)	55
ビンズイ (セキレイ科)	56
サンショウクイ (サンショウクイ科)	56
コマドリ (ツグミ科)	57
コルリ (ツグミ科)	57
トラツグミ (ツグミ科)	58
マミジロ (ツグミ科)	58
キクイタダキ (ウグイス科)	59
セッカ (ウグイス科)	59
サンコウチョウ (カササギヒタキ科)	60
ゴジュウカラ (ゴジュウカラ科)	60
クロジ (ホオジロ科)	61
ベニヒワ (アトリ科)	61

**情報不足 (DD) — 3種**

タマシギ (タマシギ科)	49
ルリビタキ (ツグミ科)	57
エゾムシクイ (ウグイス科)	59

**両生類・爬虫類****絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) — 1種**

アカウミガメ (ウミガメ科)	65
----------------	----

**絶滅危惧Ⅱ類 (VU) — 2種**

カスミサンショウウオ (サンショウウオ科)	66
オオサンショウウオ (オオサンショウウオ科)	68

**準絶滅危惧 (NT) — 6種**

ニホンイシガメ (イシガメ科)	65
ブチサンショウウオ (サンショウウオ科)	67
ヒダサンショウウオ (サンショウウオ科)	67
ハコネサンショウウオ (サンショウウオ科)	67
ナガレタゴガエル (アカガエル科)	69
ニホンアカガエル (アカガエル科)	69

**情報不足 (DD) — 3種**

ニホンスッポン (スッポン科)	65
タカチホヘビ (ヘビ科)	66
シロマダラ (ヘビ科)	66

**その他の保護上重要な種 (OT) — 3種**

アカハライモリ (イモリ科)	68
ニホンヒキガエル (ヒキガエル科)	68
カジカガエル (アオガエル科)	69

**淡水魚類****絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) — 4種**

ミナミアカヒレタビラ (コイ科)	74
ナガレホトケドジョウ (ドジョウ科)	75
アカザ (アカザ科)	75
イトヨ日本海型 (トゲウオ科)	76

**絶滅危惧Ⅱ類 (VU) — 4種**

スナヤツメ (ヤツメウナギ科)	72
ゴギ (サケ科)	73
メダカ (メダカ科)	75
カジカ大卵型 (カジカ科)	77

**準絶滅危惧 (NT) — 8種**

ニッコウイワナ (サケ科)	72
ヤマメ・サクラマス (サケ科)	73
ワカサギ (キュウリウオ科)	73
ヤリタナゴ (コイ科)	74
スジシマドジョウ種群小型種山陰型 (ドジョウ科)	74
カワアナゴ (カワアナゴ科)	76
オオヨシノボリ (ハゼ科)	77
アユカケ (カジカ科)	77

**情報不足 (DD) — 2種**

カワヤツメ (ヤツメウナギ科)	72
オヤニラミ (ケツギョ科)	76

**昆虫類****絶滅 (EX) — 7種**

コバネアオイトトンボ (アオイトトンボ科)	83
ナニワトンボ (トンボ科)	89
カワラバッタ (バッタ科)	93
アサカミキリ (カミキリムシ科)	108
ヒョウモンモドキ (タテハチョウ科)	121
オオウラギンヒョウモン (タテハチョウ科)	122
シータテハ (タテハチョウ科)	123

**絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) — 16種**

マイコアカネ (トンボ科)	88
ハラビロハンミョウ (ハンミョウ科)	98
コガタノゲンゴロウ (ゲンゴロウ科)	102
ゲンゴロウ (ゲンゴロウ科)	102
ダイコクコガネ (コガネムシ科)	103
ミヤマダイコクコガネ (コガネムシ科)	103
フサヒゲルリカミキリ (カミキリムシ科)	107
ホシチャバネセセリ (セセリチョウ科)	113
ウラナミアカシジミ (シジミチョウ科)	115
クロシジミ (シジミチョウ科)	119
シルビアシジミ (シジミチョウ科)	119
ウスイロヒョウモンモドキ (タテハチョウ科)	120
ウラギンスジヒョウモン (タテハチョウ科)	121
メスグロヒョウモン (タテハチョウ科)	121
ウラナミジャノメ (タテハチョウ科)	124
ヒメヒカゲ本州西部亜種 (タテハチョウ科)	124

**絶滅危惧Ⅱ類 (VU) — 30種**

ムスジイトトンボ (イトトンボ科)	84
アオヤンマ (ヤンマ科)	85
ネアカヨシヤンマ (ヤンマ科)	85
ヒロシマサナエ (サナエトンボ科)	86
オグマサナエ (サナエトンボ科)	87

キイロヤマトンボ (エゾトンボ科)	87
ハネピロエゾトンボ (エゾトンボ科)	88
ハッチョウトンボ (トンボ科)	88
カヤコオロギ (マツムシ科)	91
ダイリフキバツタ (バツタ科)	91
タガメ (コオイムシ科)	96
ホソハンミョウ (ハンミョウ科)	98
カワラハンミョウ (ハンミョウ科)	99
オオヒョウタンゴミムシ (オサムシ科)	99
マルガタゲンゴロウ (ゲンゴロウ科)	101
クロゲンゴロウ (ゲンゴロウ科)	101
オオクワガタ (クワガタムシ科)	102
スゲハムシ (ハムシ科)	108
クログアネクイハムシ (ハムシ科)	108
ツヤネクイハムシ (ハムシ科)	109
ゴヘイニクバエ (ニクバエ科)	109
ニホンアミカモドキ (アミカモドキ科)	110
ニッポンハナダカバチ (アナバチ科)	111
キバネセセリ (セセリチョウ科)	112
コキマダラセセリ (セセリチョウ科)	113
スジボソヤマキチョウ (シロチョウ科)	115
ゴマシジミ (シジミチョウ科)	119
ヒメシジミ (シジミチョウ科)	120
クモガタヒョウモン (タテハチョウ科)	122
キマダラモドキ (タテハチョウ科)	124
<b>準絶滅危惧 (NT) — 43種</b>	
アオハダトンボ (カワトンボ科)	82
アオモンイトトンボ (イトトンボ科)	84
ルリボシヤンマ (ヤンマ科)	85
ホンサナエ (サナエトンボ科)	86
タベサナエ (サナエトンボ科)	86
エゾトンボ (エゾトンボ科)	87
ヒメアカネ (トンボ科)	89
コノシメトンボ (トンボ科)	89
ミヤマノギカワゲラ (ヒロムネカワゲラ科)	90
ハマスズ (ヒバリモドキ科)	90
ショウリョウバッタモドキ (バッタ科)	92
ヤマトマダラバッタ (バッタ科)	93
ハマベツチカメムシ (ツチカメムシ科)	93
コオイムシ (コオイムシ科)	95
オオミズムシ (ミズムシ科)	95
ハルゼミ (セミ科)	97
ヒメハルゼミ (セミ科)	97
ハマベウスバカゲロウ (ウスバカゲロウ科)	98
オオチャイロハナムグリ (コガネムシ科)	103
ヨコミゾドロムシ (ヒメドロムシ科)	104
ケスジドロムシ (ヒメドロムシ科)	105
ジュウクホシテントウ (テントウムシ科)	106
キオビホオナガスズメバチ本州亜種 (スズメバチ科)	110
コウベキヌゲハキリバチ (ハキリバチ科)	111
ギンイチモンジセセリ (セセリチョウ科)	112
スジグロチャバネセセリ (セセリチョウ科)	113
ギフチョウ (アゲハチョウ科)	114
ジャコウアゲハ (アゲハチョウ科)	114

ツマグロキチョウ (シロチョウ科)	114
ミドリシジミ (シジミチョウ科)	116
ヒサマツミドリシジミ (シジミチョウ科)	116
キリシマミドリシジミ (シジミチョウ科)	116
オオミドリシジミ (シジミチョウ科)	117
クロミドリシジミ (シジミチョウ科)	117
ヒロオビミドリシジミ (シジミチョウ科)	117
ウラジロミドリシジミ (シジミチョウ科)	118
ミヤマカラスシジミ (シジミチョウ科)	118
キマダラルリツバメ (シジミチョウ科)	118
スギタニルリシジミ (シジミチョウ科)	120
ホシミスジ (タテハチョウ科)	123
オオムラサキ (タテハチョウ科)	123
オオヒカゲ (タテハチョウ科)	125
クロビロードヨトウ (ヤガ科)	127

**情報不足 (DD) — 33種**

オツネトンボ (アオイトトンボ科)	83
モートンイトトンボ (イトトンボ科)	83
ムカシヤンマ (ムカシヤンマ科)	84
ウスバカマキリ (カマキリ科)	90
セグロイナゴ (バッタ科)	92
ズイムシハナカメムシ (ハナカメムシ科)	94
ゴミアシナガサシガメ (サシガメ科)	94
イトアメンボ (イトアメンボ科)	94
ホッケミズムシ (ミズムシ科)	95
ヒメミズカマキリ (タイコウチ科)	96
アカエゾゼミ (セミ科)	96
エノキカイガラキジラミ (キジラミ科)	97
ダイセンツヤゴモクムシ (オサムシ科)	99
カワラゴミムシ (カワラゴミムシ科)	100
ヒメボタル (ホタル科)	100
ヒメシマチビゲンゴロウ (ゲンゴロウ科)	101
アカマダラハナムグリ (コガネムシ科)	104
セマルヒメドロムシ (ヒメドロムシ科)	104
ハガマルヒメドロムシ (ヒメドロムシ科)	105
トオヤマシラホシナガタマムシ (タマムシ科)	105
クロサワヘリグロハナカミキリ (カミキリムシ科)	106
アカネクスジトラカミキリ (カミキリムシ科)	107
ヒメビロウドカミキリ (カミキリムシ科)	107
キンイロネクイハムシ (ハムシ科)	109
フクイアナバチ (アナバチ科)	110
キアシハナダカバチモドキ (アナバチ科)	111
キバラハキリバチ (ハキリバチ科)	112
ミスジチョウ (タテハチョウ科)	122
シナミズメイガ (ツトガ科)	125
モンホソバスズメ (スズメガ科)	125
ウスジロドクガ (ドクガ科)	126
トビイロアカガネヨトウ (ヤガ科)	126
コシロシタバ (ヤガ科)	127

**その他の保護上重要な種 (OT) — 8種**

アサヒナカワトンボ (カワトンボ科)	82
ニホンカワトンボ (カワトンボ科)	82
ダイセンササキリモドキ (ササキリモドキ科)	91

セトウチフキバツタ (バツタ科)	92
ジョウカイボン (ジョウカイボン科)	100
シラユキヒメハナカミキリ (カミキリムシ科)	106
オナガシジミ (シジミチョウ科)	115
ミヤマハガタヨトウ (ヤガ科)	126

---

**クモガタ類・多足類・陸生甲殻類**


---

**絶滅危惧II類 (VU) — 2種**

イソコモリグモ (コモリグモ科)	138
ゴホントゲザトウムシ (マザトウムシ科)	139

**準絶滅危惧 (NT) — 5種**

キシノウエトタテグモ (トタテグモ科)	137
キノボリトタテグモ (トタテグモ科)	137
ワスレナグモ (ジグモ科)	137
コロナギサダニ (ウシオダニ科)	138
ヒトハリザトウムシ (カワザトウムシ科)	142

**情報不足 (DD) — 7種**

ニホンチビヒメフナムシ (フナムシ科)	135
ニホンハマワラジムシ (ウミベワラジムシ科)	135
ニッポンヒロワラジムシ (ヒメワラジムシ科)	135
ニシカワハヤシワラジムシ (トウヨウワラジムシ科)	136
コヤマホラケヤスデ (ホラケヤスデ科)	136
クビオビヤスデ (オビヤスデ科)	136
スナヒメハダニ (ヒメハダニ科)	138

**その他の保護上重要な種 (OT) — 9種**

ダイセンニセタテツメザトウムシ (ミツツメザトウムシ科)	139
ヒコナミザトウムシ (カワザトウムシ科)	139
サトウナミザトウムシ (カワザトウムシ科)	140
ヤマスベザトウムシ (カワザトウムシ科)	140
ヒライワスベザトウムシ (カワザトウムシ科)	140
イラカザトウムシ (カワザトウムシ科)	141
アカサビザトウムシ (カワザトウムシ科)	141
オオナガザトウムシ (カワザトウムシ科)	141
フタコブザトウムシ (カワザトウムシ科)	142

---

**陸産・淡水産貝類**


---

**絶滅危惧I類 (CR+EN) — 9種**

クビレイトウムシオイガイ (ムシオイガイ科)	147
ヒョットコイトウムシオイガイ (ムシオイガイ科)	147
ヤママメタニシ (イツマデガイ科)	149
パツラマイマイ (パツラマイマイ科)	154
ニセマツカサガイ (イシガイ科)	157
マツカサガイ (イシガイ科)	157
カラスガイ (イシガイ科)	158
フネドブガイ (イシガイ科)	159
マメシジミ (マメシジミ科)	160

**絶滅危惧II類 (VU) — 2種**

ホソヒメギセル (キセルガイ科)	153
------------------	-----

タガイ (イシガイ科)	158
-------------	-----

**準絶滅危惧 (NT) — 22種**

イシマキガイ (アマオブネガイ科)	146
アツブタガイ (ヤマタニシ科)	146
アズキガイ (アズキガイ科)	146
ミヤコムシオイ (ムシオイガイ科)	147
マルタニシ (タニシ科)	148
オオタニシ (タニシ科)	148
カワグチツボ (カワグチツボ科)	149
モノアラガイ (モノアラガイ科)	150
コウロマイマイ (オナジマイマイ科)	151
クリイロキセルガイモドキ (キセルガイモドキ科)	152
フトキセルガイモドキ (キセルガイモドキ科)	152
キセルガイモドキ (キセルガイモドキ科)	152
オオギセル (キセルガイ科)	153
モリヤギセル (キセルガイ科)	153
オオコウラナメクジ (オオコウラナメクジ科)	154
ヤマコウラナメクジ (オオコウラナメクジ科)	154
クチベニマイマイ (オナジマイマイ科)	155
イシガイ (イシガイ科)	157
ヌマガイ (イシガイ科)	158
ヤマトシジミ (シジミ科)	159
マシジミ (シジミ科)	159
ウエジマメシジミ (マメシジミ科)	160

**情報不足 (DD) — 9種**

ミズゴマツボ (ミズゴマツボ科)	149
ナガオカモノアラガイ (オカモノアラガイ科)	151
ヒラマキガイモドキ (ヒラマキガイ科)	150
ヒラマキミズマイマイ (ヒラマキガイ科)	150
コベソマイマイ (ナンバンマイマイ科)	151
クリイロベッコウマイマイ (ベッコウマイマイ科)	155
カサネシタラ (ベッコウマイマイ科)	155
アワジオトメマイマイ (オナジマイマイ科)	156
トンガリササノハガイ (イシガイ科)	156

**その他の保護上重要な種 (OT) — 2種**

オオゴマガイ (ゴマガイ科)	148
コウダカシロマイマイ (オナジマイマイ科)	156

---

**その他の無脊椎動物**


---

**準絶滅危惧 (NT) — 1種**

ミヤマウズムシ (ヒラタウズムシ科)	164
--------------------	-----

**情報不足 (DD) — 2種**

ヒガシナメクジウオ (ナメクジウオ科)	164
ヌマカイメン (タンスイカイメン科)	165

**その他の保護上重要な種 (OT) — 1種**

シロカイメン (タンスイカイメン科)	164
--------------------	-----

---

**菌 類**


---

**絶滅危惧II類 (VU) — 5種**  
 キツネノサカズキ (ベニチャワンタケ科) 167  
 シロタモギタケ (キシメジ科) 168  
 タモギタケ (ヒラタケ科) 168  
 ヌメリアイタケ (ニンギョウウタケモドキ科) 168  
 コカンバタケ (サルノコシカケ科) 169

**準絶滅危惧 (NT) — 4種**  
 キツネノワン (キンカクキン科) 167  
 キツネノヤリ (キンカクキン科) 167  
 チョレイマイタケ (サルノコシカケ科) 169  
 ニカワシヨウロ (プロトファルス科) 169

**地衣類**

**絶滅危惧I類 (CR+EN) — 1種**  
 フルイサルオガセ (ウメノキゴケ科) 173

**絶滅危惧II類 (VU) — 1種**  
 イワタケ (イワタケ科) 174

**準絶滅危惧 (NT) — 1種**  
 アカサルオガセ (ウメノキゴケ科) 173

**情報不足 (DD) — 4種**  
 イコマウメノキゴケ (ウメノキゴケ科) 172  
 ナリアイウメノキゴケ (ウメノキゴケ科) 172  
 トゲサルオガセ (ウメノキゴケ科) 172  
 アカヒゲゴケ (ウメノキゴケ科) 173

**車軸藻類**

**絶滅危惧I類 (CR+EN) — 7種**  
 イトシャジクモ (シャジクモ科) 177  
 オウシャジクモ (シャジクモ科) 177  
 ソデマクリシャジクモ (シャジクモ科) 178  
 ヒメフラスコモ (シャジクモ科) 178  
 キヌフラスコモ (シャジクモ科) 179  
 フタマタフラスコモ (シャジクモ科) 179  
 セイロンフラスコモ (シャジクモ科) 179

**絶滅危惧II類 (VU) — 1種**  
 シャジクモ (シャジクモ科) 177

**情報不足 (DD) — 1種**  
 モリオカフラスコモ (シャジクモ科) 178

**コケ植物**

**絶滅危惧II類 (VU) — 2種**  
 キヌシッポゴケモドキ (キヌシッポゴケ科) 184  
 ジョウレンホウオウゴケ (ホウオウゴケ科) 185

**準絶滅危惧 (NT) — 5種**  
 オオミズゴケ (ミズゴケ科) 182

クマノゴケ (イクビゴケ科) 184  
 ヤマトハクチョウゴケ (ギボウシゴケ科) 184  
 コキジノオゴケ (クジャクゴケ科) 185  
 イチョウウキゴケ (ウキゴケ科) 187

**情報不足 (DD) — 9種**  
 コアナミズゴケ (ミズゴケ科) 182  
 ヒメミズゴケ (ミズゴケ科) 182  
 ホソベリミズゴケ (ミズゴケ科) 183  
 ハリミズゴケ (ミズゴケ科) 183  
 イシヅチゴケ (イシヅチゴケ科) 183  
 イブキタチヒダゴケ (タチヒダゴケ科) 185  
 カワゴケ (カワゴケ科) 186  
 キタイタチゴケ (イタチゴケ科) 186  
 ミヤマミズゼニゴケ (アリソンゴケ科) 187

**その他の保護上重要な種 (OT) — 2種**  
 コウヤノマンネングサ (コウヤノマンネングサ科) 186  
 コマチゴケ (コマチゴケ科) 187

**シダ植物**

**絶滅 (EX) — 4種**  
 アスヒカズラ (ヒカゲノカズラ科) 191  
 クラガリシダ (ウラボシ科) 204  
 デンジソウ (デンジソウ科) 207  
 オオアカウキクサ (アカウキクサ科) 207

**絶滅危惧I類 (CR+EN) — 14種**  
 スギラン (ヒカゲノカズラ科) 190  
 ヒメスギラン (ヒカゲノカズラ科) 190  
 ヒメハナワラビ (ハナヤスリ科) 193  
 ナガホノナツノハナワラビ (ハナヤスリ科) 193  
 ハマハナヤスリ (ハナヤスリ科) 194  
 ヤシャゼンマイ (ゼンマイ科) 194  
 ハコネシダ (ホウライシダ科) 196  
 タキミシダ (シシラン科) 196  
 ヒロハヤブソテツ (オシダ科) 198  
 ヘイケイヌワラビ (イワデンダ科) 201  
 シマイヌワラビ (イワデンダ科) 202  
 イッポンワラビ (イワデンダ科) 202  
 オオメシダ (イワデンダ科) 203  
 オオエゾデンダ (ウラボシ科) 206

**絶滅危惧II類 (VU) — 21種**  
 ミズスギ (ヒカゲノカズラ科) 190  
 マンネンスギ (ヒカゲノカズラ科) 191  
 ヒモカズラ (イワヒバ科) 192  
 ミズニラ (ミズニラ科) 192  
 コヒロハハナヤスリ (ハナヤスリ科) 193  
 オウレンシダ (コバノイシカゲマ科) 194  
 フジシダ (コバノイシカゲマ科) 195  
 ミヤマシシガシラ (シシガシラ科) 197  
 ミヤコヤブソテツ (オシダ科) 198  
 キヨヅミオオクジャク (オシダ科) 199



ナガバノイタチシダ (オシダ科)	199	チャボゼキシヨウ (ユリ科)	215
ホソイノデ (オシダ科)	199	イワショウブ (ユリ科)	215
ツルデンダ (オシダ科)	200	ヒメナベワリ (ビャクブ科)	217
カラクサイノデ (オシダ科)	200	コキンバイザサ (キンバイザサ科)	217
ミヤコイヌワラビ (イワデンダ科)	201	ミズアオイ (ミズアオイ科)	218
ハコネシケチシダ (イワデンダ科)	202	ヒナノシヤクジョウ (ヒナノシヤクジョウ科)	219
フクロシダ (イワデンダ科)	203	ナンゴクウラシマソウ (サトイモ科)	221
ホテイシダ (ウラボシ科)	204	ヒメザゼンソウ (サトイモ科)	221
アオネカズラ (ウラボシ科)	205	ヤマトミクリ (ミクリ科)	222
イワオモダカ (ウラボシ科)	206	ヒメミクリ (ミクリ科)	223
ビロードシダ (ウラボシ科)	206	ミヤマイワスゲ (カヤツリグサ科)	224
<b>準絶滅危惧 (NT) — 14種</b>			
カタヒバ (イワヒバ科)	191	ホスゲ (カヤツリグサ科)	225
イワヒバ (イワヒバ科)	192	チャボイ (カヤツリグサ科)	229
オオフジシダ (コバノイシカグマ科)	195	ヒナラン (ラン科)	230
シノブ (シノブ科)	195	ムギラン (ラン科)	231
ヌリトラノオ (チャセンシダ科)	196	キンセイラン (ラン科)	231
カミガモシダ (チャセンシダ科)	197	キエビネ (ラン科)	232
オサシダ (シシガシラ科)	197	ユウシュンラン (ラン科)	233
ハチジョウベニシダ (オシダ科)	198	ササバギンラン (ラン科)	233
ミヤマワラビ (ヒメシダ科)	200	トケンラン (ラン科)	234
ミヤマメシダ (イワデンダ科)	201	クマガイソウ (ラン科)	234
イワヤシダ (イワデンダ科)	203	イチヨウラン (ラン科)	234
イワデンダ (イワデンダ科)	204	コイチヨウラン (ラン科)	235
サジラン (ウラボシ科)	205	カモメラン (ラン科)	235
クリハラン (ウラボシ科)	205	シロテンマ (ラン科)	236
<hr/>			
<b>種子植物</b>			
<hr/>			
<b>絶滅 (EX) — 6種</b>			
ネズコ (ヒノキ科)	208	ツリシュスラン (ラン科)	237
ヤナギスブタ (トチカガミ科)	210	ノビネチドリ (ラン科)	237
ダイセンアシボソスゲ (カヤツリグサ科)	228	セイタカスズムシソウの近縁種 (ラン科)	238
ガガブタ (ミツガシワ科)	295	ジガバチソウ (ラン科)	239
アサザ (ミツガシワ科)	296	ヨウラクラン (ラン科)	240
ヌマダイコン (キク科)	314	サギソウ (ラン科)	240
<b>野生絶滅 (EW) — 2種</b>			
ヒメシロアサザ (ミツガシワ科)	295	ミズチドリ (ラン科)	241
フジバカマ (キク科)	318	コバノトンボソウ (ラン科)	242
<b>絶滅危惧 I 類 (CR+EN) — 90種</b>			
ミヤマビャクシン (ヒノキ科)	208	ヤマトキシソウ (ラン科)	243
マルバオモダカ (オモダカ科)	209	ウチヨウラン (ラン科)	243
ミズオオバコ (トチカガミ科)	210	マツラン (ラン科)	243
ツツイトモ (ヒルムシロ科)	210	カヤラン (ラン科)	244
リュウノヒゲモ (ヒルムシロ科)	211	サンショウソウ (イラクサ科)	247
カワツルモ (カワツルモ科)	211	ヤナギヌカボ (タデ科)	248
イトクズモ (イトクズモ科)	212	ミチノクフクジュソウ (キンポウゲ科)	250
ヒメイバラモ (イバラモ科)	212	バイカモ (キンポウゲ科)	254
ホンゴウソウ (ホンゴウソウ科)	212	オトコゼリ (キンポウゲ科)	254
ギョウジャニンニク (ユリ科)	213	モミジカラマツ (キンポウゲ科)	255
ツバメオモト (ユリ科)	213	ヒメカンアオイ (ウマノスズクサ科)	258
ハナゼキシヨウ (ユリ科)	215	ベニバナヤマシヤクヤク (ボタン科)	259
		アズマツメクサ (ベンケイソウ科)	261
		コウヤミズキ (マンサク科)	262
		ノウゴウイチゴ (バラ科)	266
		カラフトダイコンソウ (バラ科)	266
		コキンバイ (バラ科)	271
		タヌキマメ (マメ科)	272
		イタチササゲ (マメ科)	272
		ヒトツバハギ (トウダイグサ科)	275
		ヒナノカンザシ (ヒメハギ科)	276
		サクラスミレ (スミレ科)	281

エゾミズタマソウ (アカバナ科)	283	ユキワリイチゲ (キンポウゲ科)	250
ゴゼンタチバナ (ミズキ科)	284	ヤマオダマキ (キンポウゲ科)	251
ドクゼリ (セリ科)	285	リュウキンカ (キンポウゲ科)	252
コケモモ (ツツジ科)	292	トリガタハンショウヅル (キンポウゲ科)	252
サクラソウ (サクラソウ科)	292	バイカオウレン (キンポウゲ科)	252
イヌセンブリ (リンドウ科)	294	ミスミソウ (キンポウゲ科)	253
ミカエリソウ (シソ科)	302	オキナグサ (キンポウゲ科)	253
スズメハコベ (ゴマノハグサ科)	304	ミヤマカラムツ (キンポウゲ科)	254
オオバミゾホオズキ (ゴマノハグサ科)	304	ヒロハヘビノボラズ (メギ科)	255
シシンラン (イワタバコ科)	308	ジュンサイ (スイレン科)	256
ミミカキグサ (タヌキモ科)	310	マルバノウマノスズクサ (ウマノスズクサ科)	257
ホザキノミミカキグサ (タヌキモ科)	310	ミヤマハタザオ (アブラナ科)	260
フクシマシャジン (キキョウ科)	312	イワネコノメソウ (ユキノシタ科)	262
シデシャジン (キキョウ科)	313	ツルネコノメソウ (ユキノシタ科)	263
ウラギク (キク科)	315	チシマネコノメソウ (ユキノシタ科)	263
テリハアザミ (キク科)	316	オオシラヒゲソウ (ユキノシタ科)	264
サンベサワアザミ (キク科)	317	ザリコミ (ユキノシタ科)	265
ヒゴタイ (キク科)	317	リンボク (バラ科)	266
ヤナギタンポポ (キク科)	318	カワラサイコ (バラ科)	268
フクオウソウ (キク科)	321	シャリンバイ (バラ科)	269
オオダイトウヒレン (キク科)	322	ハマナス (バラ科)	269
ヒメヒゴタイ (キク科)	322	キビナワシロイチゴ (バラ科)	270
コウリンカ (キク科)	324	ナガボノワレモコウ (バラ科)	270
<b>絶滅危惧II類 (VU) — 112種</b>			
アギナシ (オモダカ科)	209	イワガサ (バラ科)	271
キバナノアマナ (ユリ科)	214	フジキ (マメ科)	272
ノシラン (ユリ科)	214	イヌハギ (マメ科)	273
タケシマラン (ユリ科)	214	ツルフジバカマ (マメ科)	273
タマガワホトトギス (ユリ科)	216	メグスリノキ (カエデ科)	276
ナガエミクリ (ミクリ科)	222	ヒナウチワカエデ (カエデ科)	277
ヒロバスケ (カヤツリグサ科)	226	ミヤマウメモドキ (モチノキ科)	277
サツマスゲ (カヤツリグサ科)	226	ヨコグラノキ (クロウメモドキ科)	278
ヒメスゲ (カヤツリグサ科)	227	コショウノキ (ジンチョウゲ科)	278
オオクグ (カヤツリグサ科)	227	カラスシキミ (ジンチョウゲ科)	279
ベニイトスゲ (カヤツリグサ科)	228	マメグミ (グミ科)	279
シオクグ (カヤツリグサ科)	228	イソスミレ (スミレ科)	280
オオカワズスゲ (カヤツリグサ科)	229	ケマルバスミレ (スミレ科)	281
マシカクイ (カヤツリグサ科)	230	アナマスミレ (スミレ科)	281
コマツカサススキ (カヤツリグサ科)	230	イワアカバナ (アカバナ科)	283
ギンラン (ラン科)	232	マルバノイチヤクソウ (イチヤクソウ科)	286
キンラン (ラン科)	233	コメバツガザクラ (ツツジ科)	287
セッコク (ラン科)	235	ミヤマホツツジ (ツツジ科)	288
ミズトンボ (ラン科)	238	ベニドウドン (ツツジ科)	288
ホクリクムヨウラン (ラン科)	238	コヨウラクツツジ (ツツジ科)	289
フウラン (ラン科)	240	ツガザクラ (ツツジ科)	289
トキソウ (ラン科)	242	ヒカゲツツジ (ツツジ科)	290
ヒトツボクロ (ラン科)	244	ゲンカイツツジ (ツツジ科)	290
オオバヤナギ (ヤナギ科)	245	アラゲナツハゼ (ツツジ科)	291
ミヤマハンノキ (カバノキ科)	245	クロバイ (ハイノキ科)	293
ハシバミ (カバノキ科)	246	チトセカズラ (マチン科)	293
コバノチョウセンエノキ (ニレ科)	246	ホウライカズラ (マチン科)	294
イブキトラノオ (タデ科)	247	アイナエ (マチン科)	294
ノダイオウ (タデ科)	248	ミツガシワ (ミツガシワ科)	295
エゾカワラナデシコ (ナデシコ科)	249	キジョラン (ガガイモ科)	296
		フナバラソウ (ガガイモ科)	297
		スズサイコ (ガガイモ科)	297

イナモリソウ (アカネ科)	299	ミヤマウズラ (ラン科)	237
ホタルカズラ (ムラサキ科)	300	クモキリソウ (ラン科)	239
カリガネソウ (クマツヅラ科)	300	コ克蘭 (ラン科)	239
ジュウニヒトエ (シソ科)	301	ジンバイソウ (ラン科)	241
キセワタ (シソ科)	301	ショウキラン (ラン科)	244
ヒメナミキ (シソ科)	302	ヤマモモ (ヤマモモ科)	245
アオホオズキ (ナス科)	303	カワラハンノキ (カバノキ科)	246
トモエシオガマ (ゴマノハグサ科)	305	ツクバネ (ビャクダン科)	247
トウテイラン (ゴマノハグサ科)	305	ハルトラノオ (タデ科)	248
オオヒナノウスツボ (ゴマノハグサ科)	306	オオヤマフスマ (ナデシコ科)	249
オオヒキヨモギ (ゴマノハグサ科)	306	ワチガイソウ (ナデシコ科)	249
イワギリソウ (イワタバコ科)	308	タンナトリカブト (キンボウゲ科)	250
オオナンバンギセル (ハマウツボ科)	309	キクザキイチゲ (キンボウゲ科)	251
ハマウツボ (ハマウツボ科)	309	アズマイチゲ (キンボウゲ科)	251
キヨスミウツボ (ハマウツボ科)	309	サンカヨウ (メギ科)	255
イヌタヌキモ (タヌキモ科)	310	コウホネ (スイレン科)	256
ムラサキミミカキグサ (タヌキモ科)	311	ヒツジグサ (スイレン科)	256
キンギンボク (スイカズラ科)	311	ハンゲショウ (ドクダミ科)	257
チョウジギク (キク科)	314	フタバアオイ (ウマノスズクサ科)	257
ワカサハマギク (キク科)	316	ウスバサイシン (ウマノスズクサ科)	258
イワギク (キク科)	316	ヤマシャクヤク (ボタン科)	258
マルバダケブキ (キク科)	319	ハマヒサカキ (ツバキ科)	259
メタカラコウ (キク科)	319	トモエソウ (オトギリソウ科)	260
オオモミジガサ (キク科)	320	コイヌガラシ (アブラナ科)	260
ニシノヤマタイミンガサ (キク科)	320	ミツバベンケイソウ (ベンケイソウ科)	261
カシワバハグマ (キク科)	321	メノマンネングサ (ベンケイソウ科)	261
キクアザミ (キク科)	322	ウラジロウツギ (ユキノシタ科)	263
<b>準絶滅危惧 (NT) — 118種</b>			
ツガ (マツ科)	207	ウメバチソウ (ユキノシタ科)	264
イトモ (ヒルムシロ科)	211	バイカウツギ (ユキノシタ科)	264
カタクリ (ユリ科)	213	ヤシャビシャク (ユキノシタ科)	265
バイケイソウ (ユリ科)	216	オニシモツケ (バラ科)	265
アオヤギソウ (ユリ科)	216	ズミ (バラ科)	267
オオキツネノカミソリ (ヒガンバナ科)	217	オオウラジロノキ (バラ科)	267
ヒオウギ (アヤメ科)	218	イヌザクラ (バラ科)	267
ノハナショウブ (アヤメ科)	218	ミツモトソウ (バラ科)	268
カキツバタ (アヤメ科)	219	イワキンバイ (バラ科)	268
イワタケソウ (イネ科)	219	ヤマイバラ (バラ科)	269
アイアシ (イネ科)	220	ミヤマニガイチゴ (バラ科)	270
ヒロハテンナンショウ (サトイモ科)	220	コゴメウツギ (バラ科)	271
ウラシマソウ (サトイモ科)	220	イヨフウロ (フウロソウ科)	274
ザゼンソウ (サトイモ科)	221	トウダイグサ (トウダイグサ科)	274
ミクリ (ミクリ科)	222	ナツトウダイ (トウダイグサ科)	274
ウキヤガラ (カヤツリグサ科)	223	コクサギ (ミカン科)	275
コウキヤガラ (カヤツリグサ科)	223	フユザンショウ (ミカン科)	275
クロカワズスゲ (カヤツリグサ科)	224	アサノハカエデ (カエデ科)	276
オニスゲ (カヤツリグサ科)	225	クロヅル (ニシキギ科)	277
サンインヒエスゲ (カヤツリグサ科)	226	カラスノゴマ (シナノキ科)	278
オタルスゲ (カヤツリグサ科)	227	ヒゴスミレ (スミレ科)	280
ヒトモトススキ (カヤツリグサ科)	229	ツルタチツボスミレ (スミレ科)	280
エビネ (ラン科)	231	アカネスミレ (スミレ科)	282
ナツエビネ (ラン科)	232	アケボノスミレ (スミレ科)	282
オニノヤガラ (ラン科)	236	ミヤマニガウリ (ウリ科)	282
クロヤツシロラン (ラン科)	236	エゾミソハギ (ミソハギ科)	283
		ヒメアカバナ (アカバナ科)	284
		エゾノヨロイグサ (セリ科)	285

オオハナウド (セリ科)	285	ヒョウノセンカタバミ (カタバミ科)	273
ムカゴニンジン (セリ科)	286	ダイセンキスミレ (スミレ科)	279
イワウチワ (イワウメ科)	286	ダイセンミツバツツジ (ツツジ科)	290
サラサドウダン (ツツジ科)	288	キシツツジ (ツツジ科)	291
シラタマノキ (ツツジ科)	289	キュウシュウコゴメグサ (ゴマノハグサ科)	304
バйкаツツジ (ツツジ科)	291	ダイセンクワガタ (ゴマノハグサ科)	305
リュウキュウマメガキ (カキノキ科)	292	サンインクワガタ (ゴマノハグサ科)	307
シオジ (モクセイ科)	293	ダイセンヒョウタンボク (スイカズラ科)	311
ホソバオオアリドオシ (アカネ科)	297	シマカンギク (キク科)	315
オオバノヨツバムグラ (アカネ科)	298		
キヌタソウ (アカネ科)	298		
ミヤマムグラ (アカネ科)	298		
サツマイナモリ (アカネ科)	299		
オオキヌタソウ (アカネ科)	299		
スナビキソウ (ムラサキ科)	300		
ジャコウソウ (シソ科)	301		
タジマタムラソウ (シソ科)	302		
ナミキソウ (シソ科)	303		
マルバノサワトウガラシ (ゴマノハグサ科)	303		
ヒキヨモギ (ゴマノハグサ科)	306		
カワヂシャ (ゴマノハグサ科)	307		
ナンゴククガイソウ (ゴマノハグサ科)	307		
ナンバンギセル (ハマウツボ科)	308		
カンボク (スイカズラ科)	312		
マツムシソウ (マツムシソウ科)	312		
ヤマホタルブクロ (キキョウ科)	313		
サワギキョウ (キキョウ科)	313		
キキョウ (キキョウ科)	314		
ハマベノギク (キク科)	315		
カセンソウ (キク科)	318		
ウスユキソウ (キク科)	319		
ウスゲタマブキ (キク科)	320		
ミヤコアザミ (キク科)	321		
ハンゴンソウ (キク科)	323		
ヤマザトタンポポ (キク科)	323		
カンサイタンポポ (キク科)	323		
クシバタンポポ (キク科)	324		

**情報不足 (DD) — 8種**

ケスゲ (カヤツリグサ科)	225
マイサギソウ (ラン科)	241
ヤマサギソウ (ラン科)	242
ヨロイグサ (セリ科)	284
シャクジョウソウ (シャクジョウソウ科)	287
ギンリョウソウモドキ (シャクジョウソウ科)	287
コカモメヅル (ガガイモ科)	296
ムラクモアザミ (キク科)	317

**その他の保護上重要な種 (OT) — 15種**

イチイ (イチイ科)	208
キャラボク (イチイ科)	209
ダイセンスゲ (カヤツリグサ科)	224
サンインシロカネソウ (キンポウゲ科)	253
ダイセンオトギリ (オトギリソウ科)	259
アテツマンサク (マンサク科)	262